

2020年 4月分



会 計 帳 簿

支出項目	広報費
------	-----

NO	月日	内 容		支 出 額	証 明 書 類	
		品目	支出先		領収書 番 号	支払 証明書 番 号
1	4月24日	会派広報誌製作費 デザイン料・印刷代	やまと印刷(株)	208,560	1	
2	4月24日	ポスティング代金	ワイエス(株)ミッド事業部	65,016	2	
3	4月24日	振込手数料	青森銀行	550	3	
4	4月24日	振込手数料	青森銀行	550	4	
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						
16						
17						
18						
19						
20						
4月 小 計				274,676		

領 収 書 貼 付 用 紙

支 出 項 目	広 報 費	領 収 書 番 号	/
---------	-------	-----------	---

領 収 証	No 82095														
発行日 2020 年 4 月 24 日															
弘前市議会会派 さくら栞の会 様															
領 収 金 額	¥ 2 0 8 5 6 0														
但活動報告(さくら栞レポートVol.4)印刷代として 上記金額正に領収いたしました。															
<table border="1" style="font-size: small;"> <tr><td>品 代</td><td></td></tr> <tr><td>消費税</td><td></td></tr> <tr><td>入 金 内 訳</td><td></td></tr> <tr><td>現金</td><td>、</td></tr> <tr><td>小切手</td><td>(/)</td></tr> <tr><td>手 形</td><td>(/)</td></tr> <tr><td>相 殺</td><td></td></tr> </table>	品 代		消費税		入 金 内 訳		現金	、	小切手	(/)	手 形	(/)	相 殺		  やまと印刷株式会社 <small>036-8061 弘前市神田4丁目4-5 (0172)34-4111代</small>
品 代															
消費税															
入 金 内 訳															
現金	、														
小切手	(/)														
手 形	(/)														
相 殺															
	担 当														

支出目的・内容	会派広報誌製作費
---------	----------

備 考

備 考

請求書

2020年04月16日 1/1

弘前市議会会派 さくら未来の会 様

600806-00

やまと印刷株式会社

代表取締役 秋元 清仁

〒036-8061 青森県弘前市神田4-4-5

TEL 0172-34-4111

FAX 0172-36-3299

下記の通りご請求申し上げます

伝票番号 104938 担当 [REDACTED]

商 品 名	数 量	単 価	金 額
活動報告 (さくら未来レポートVol.4)	12,000部	15.80	189,600
<以下余白>			
摘要	課税対象額	189,600	小 計 189,600
	消費税等	18,960	合 計 208,560

取引銀行: [REDACTED]

領 収 書 貼 付 用 紙

支 出 項 目	広 報 費	領 収 書 番 号	2
---------	-------	-----------	---

領 収 証

No. 1047

弘前市議会派さくら未来 様

入 金 日		
30	4	24

	百万		千		円
	7	6	5	0	16

差引売掛金残高					
					70

法 人 c.		

請 求 先 c.		
05	123	

上記の金額正に領収致しました

- 現金 小切手 振込 相殺

摘要

- 4/21 チラシ配布料として
 / DM配布料として
 クリッパー 月分として



ワイエス株式会社 ミッド事業部

- 青森(営) 〒088-0042 青森市新地字福田57番地
TEL (017) 788-4471
 弘前(営) 〒036-0238 弘前市正沼富田19-7
TEL (0172) 57-5588
 五所川原(営) 〒038-3107 つがる市柏瀬盛岡本94
TEL (0173) 26-7177



本領収証は社印及び取扱者印のないもの及び金額訂正のものは無効です

支出目的・内容	ポスティング代金
備 考	

請 求 書

〒 036-8207
弘前市上白銀町 1-1

25123-S0025 請求No. 0000068229
頁 1

弘前市議会会派 さくら未来 様



〒 038-0012
青森市大字新城字福田 5 7
TEL. 017-788-4471 FAX. 017-788-4409
担当者 弘前営業所

請求締切日 2020 年 04 月 21 日

御支払方法 *****

下記の通り御請求申し上げます。

前回御請求額	御入金額	差引繰越額	訂正額	今回御買上額	今回御請求額
0	0	0	0	¥65,016	¥65,016

日付	品 名	数量/単位	単 価	金 額	消費税
4/21	事業所を除く全戸 チラシA3 配布	11,821 枚	5.00	59,105	5,911
			計	59,105	5,911

取引銀行
口座名義

誠に勝手ながら振込手数料はお客様のご負担でお願い致します。

別記様式第1号 (第6条関係)

領 収 書 貼 付 用 紙

支出項目	広報費	領収書番号	5
------	-----	-------	---

電信扱
専用

和暦 年 月 日
0 2 0 4 2 4

振込金受取書 (兼 手数料受取書)
 預金払戻請求書・預金口座振替による振込受付書 (兼 手数料受取書)
 ※該当するものに○を表示します

お振込先 漢字でご記入ください。	お振込先 種別 振込先 支店
金額 十 百 千 円 0 0 0 2 0 8 5 6 0	振込手数料 5 5 0 円
お受取人 フリガナ ヤマトインサツ(株)	依頼人 フリガナ ヒロサキシキカイサクラ ミライ
(おなまえ) やまこ印刷 (株) 様へ	(おなまえ) 弘前市議会さくら未来 様から
(おところ) 弘前市 神田 4-4-5	(おところ) 弘前市 上町 1-1

○受付いたしました振込については、裏面「振込規定」によりお取扱いいたします。

当行をご利用くださりましてありがとうございます。

●お振替によりお振込の場合、お支払金額はお振込金額と手数料金額の合算となります。

お支払指定口座 (ご自分名義)	店番	科目	口座番号
			11 当座 12 普通 13 貯蓄

日付
株式会社 青森銀行

青森銀行弘前支店
弘前市役所出張所

収入印紙 2. 4. 24
出納 10
17号

※振込金+手数料が5万円以上の場合はのみ貼付する。

支出目的・内容	振込手数料
備 考	

別記様式第1号 (第6条関係)

領 収 書 貼 付 用 紙

支出項目	広報費	領収書番号	4
------	-----	-------	---

電信
専用

お振込日
和暦 年 月 日
0 2 0 4 2 4

- 振込金受取書 (兼 手数料受取書)
- 預金払戻請求書・預金口座振替による振込受付書 (兼 手数料受取書)
- ※該当するものに○を表示します

お振込先 漢字でご記入ください。 [Redacted]	銀行名 ○をおつけください。 銀 信 協 其 他 [Redacted]	支店 漢字でご記入ください。 [Redacted]
金額 十 百 千 円 [Redacted] ¥ 6 5, 0 1 6	顧客番号 [Redacted]	振込手数料 5 5 0 円
お振込目 預金種目 普通貯蓄 口座番号 [Redacted]	お電話 (市外局番) - (市内局番) - 番 号 0 1 7 2 [Redacted] 3 5 1 1 2 1	振込手数料区分 (為替) 1-一部戻金 空-一部 2-一部戻替 1-後納 3-後納 2-減免 9-免除
お受取人 フリガナ ワイエス(カ)ミット"ジ キ"ョウフ" ▲姓と名の間を1マス空け、濁点(・)、半濁点(゜)も1マスを使用してご記入ください。	お電話 フリガナ ヒロサキシキ"カイサクラ ミライ ▲姓と名の間を1マス空け、濁点(・)、半濁点(゜)も1マスを使用してご記入ください。	
(おなまえ) ワイエス(株)ミッド事業部 様へ	(おなまえ) 弘前市議会 さくら未来 様から	
(おところ) 青森市新城 福田57	(おところ) 弘前市 土白銀町 1-1	

○受付いたしました振込については、裏面「振込規定」によりお取扱いいたします。

当行をご利用くださりましてありがとうございます。



収入印紙
17号

日付
株式会社 青森銀行

●お振替によりお振込の場合、お支払金額はお振込金額と手数料金額の合算となります。

お支払指定口座 (ご自分名義)	店番	科目	口座番号
[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]

支出目的・内容	振込手数料
備 考	

弘前市議会

さくら未来レポート Vol.4

発行日 令和2年4月20日

さくら未来



パソコン越しに参加者から意見を聴いている様子です。

「Zoomで繋がる語る会」

～一斉休校スタートについて考える～

3/5(木) 19:00～開催しました。

新型コロナウイルスの感染症対策として急きょ決定した、小中学校の休校要請について、『Zoom』※を活用して多様な参加者から意見集約を行いました。

参加者からは、それぞれの立場で「困っていること」、「工夫していること」、「現場での対応」など様々な意見を集めることができました。それらの声が政治の現場に直接届くことが大切だと考えます。

※Zoomとは、いつでも、どこでも、どんな端末(スマホやパソコンなど)からでもWeb会議を実現するクラウドサービスです。簡単に言えば、複数人での同時参加が可能な「ビデオ・Web会議アプリ」です。通常はひとつの場所に集まって実施する必要があるミーティングがオンライン上(パソコン上)などで可能になり、これからの社会では益々必要になってくると思います。

— 会派ビジョン —

- 議会議事録の報告会開催
- 議会議事録の評価検証と改善
- 議員条例提案の実現
- 事業仕訳による議員提案

弘前市議会令和元年第四回定例会

今泉昌一の一般質問

1. 櫻田市長の政治姿勢について

Q. 令和元年第3回定例会の閉会後の挨拶の真意は？

A. 市長「…」

ポイント①：二元代表制の地方自治において、市長が、議場において、議会の議決を批判するような挨拶は、あってはならないことである。

ポイント②：市長の真意を問うたにもかかわらず、自ら答えず、部長に答弁させたのは、不誠実と言わざるを得ない。

2. 弘南鉄道維持活性化支援について

Q. 公費を投入して支援するに至った経緯と目的は？

A. 従来の大鰐線に加え、弘南線も赤字となったため、鉄道会社社長から支援の要請が来た。住民の足、地域の財産としての鉄道を守りたい。

ポイント①：一企業の、経常損失以上の額を公金で補填するには、社長の経営責任も含め、もっと経営の中身を精査して、深く関与すべきである。

3. 教育行政について

Q. プログラミング教育の具体的な内容は？

A. 少額5年生算数と、6年生理科の教科の中で教える。

Q. 癌教育の内容は？

A. 中学校で、生活習慣との関連性などを教えている。

Q. 特色ある学校づくり事業について、学校間の差があるのではないか？
(例、自得小学校24時間 朝陽小学校1時間)

A. 外部講師を招いた授業時間であって、全体的には差が少ない。

ポイント①：進んでいる自治体では、ロボットを動かすためのプログラミングなどに、既に取り組んでいる。弘前も遅れを取らないよう努めて欲しい。

ポイント②：癌は誰もが罹りうる病気であり、また治る病気であることを教えて欲しい。検診率を上げるためにも、早期発見の大切さを教育して欲しい。



4. 昨年10月の消費税増税後の、市内の商況について

Q. 商況は？プレミアム商品券、キャッシュレス決裁への対応は？

A. 全体として「やや悪化」。商品券の換金率は2月20日現在85.9%。
小売り・サービス業各店のキャッシュレス対応率は全国平均を上回る。

竹内ひろゆきの一般質問

●子育てしやすい弘前について

Q. 子育てしやすいとはそもそもどのような状況を指すのか？定義づけが必要と考える。

A. 子どもや保護者の状況により、それぞれの世帯が必要とするサービスは異なるため今後も幅広く様々なニーズに対応する。

ポイント：改めて、子育てしやすい弘前について定義づけされたこととなる。

Q. 認可外保育園の償還払い方法について、現状の3ヵ月に1回の方法以外にも市民ニーズに応じた対応はできるのか？

A. 一定の要件を定めた上で、家庭環境に応じ、毎月の支給を行うなど柔軟な対応を行いたいと考えている。市民要望があった点。

●AI・RPAを活用した行政経営について

Q. AI・RPAなどの先端技術を導入する目的は？

A. 人でなければできない業務に注力できる態勢の構築が必要不可欠→市民との対話促進を図ることに繋がる。

ポイント：RPA導入により職員の意識改革が図られると考える。

意見：定型業務は、最新テクノロジーの活用で補い、人にしかできない業務を突き詰めて、価値の創造を期待する。AI・RPAはこれからの時代に必要不可欠なシステムであり、現在は企画課所管であるが全庁舎的に推進する体制を構築すべき。最後に、現在の新型コロナウイルスの影響で、職員の働き方改革も考えていかなければいけない。そこには最新テクノロジーの活用は不可欠。

●三点目、地域のスポーツ環境について

Q. 子どもたちのスポーツ環境の課題認識は？

A. 子どもたちのスポーツ離れが大きな課題。保護者負担が大きいことも要因として挙げられる。それを踏まえ、子どもたちが地域や保護者の事情に左右されず、気軽にスポーツを楽しむことができるよう、児童のスポーツ環境整備支援事業を実施している。

ポイント：競技スポーツの過密日程も大きな問題。教育委員会と協議し、対策について健全育成を目的とした、文化・スポーツ活動の指針を策定中。

意見：1年以上前から答弁の中で策定を目指しているとある。スピード感を持った対応を。

意見：子どもたちの選択肢が狭まることは避けなければいけない。そのために何をするのが行政の役割であり、RPA導入の質問とも関連するが、職員にしかできない仕事を進めていただきたい。

今泉昌一の予算委員会での質問

1. 歳出全般に関して

Q. 義務的経費の割合(52.4%)が年々増加していて、投資的経費(9.5%)が減少している。この傾向をどう考えるか？

A. 大規模な箱物建設が無くなったこともある。全体のバランスについては見直していきたい。

ポイント：扶助費・人件費が増加し、財政の硬直化が危惧される。



2. 市民会館費の増加について

Q. 指定管理に比べ、約1,900万円もの経費増になるにも係わらず直営で行うのは何故か？

A. 議会で否決された指定管理候補者から、訴訟を提起されるリスクがあるため。

ポイント：議会の議決を経ないうちに、あたかも決定のような言質を与えているのであれば、その方が問題と思う。

3. 文化センター費

Q. 市民会館整備時でも1年間だったのに、文化センターの整備に2年も要するのは何故か？

A. 延べ床面積は文化センターの方が広い。加えて、部屋が用途別に区切られていて、工事に手間がかかる。

ポイント：2年間の休館は、文化センターを拠点に活動をしている多数の文化団体にとっては長すぎる。工期の短縮と、その間の代替施設の確保を望む。

4. 歳入 固定資産税について

Q. 固定資産税収の大幅減の原因は？

A. 昨年の税制改革で、一旦は国に納められ、後で再交付されることとなった部分がある。ただし、実質の法人からの税収も少なめにしている。

ポイント：法人からの税収を少なめに見るということが、市内における経済活動の停滞を意味しているのか？次回以降の一般質問で採り上げたい。

竹内ひろゆきの予算委員会での質問

●データ強靱化対策に関すること

Q. 情報流出事件に関連した予算処置なのか？導入することで期待される効果は？

A. 情報流出事件とは直接的に関係はなく、以前より計画があった。

効果については、アクティブディレクトリー(情報管理ソフト)の導入により職員の利用状況がより把握できるようになった。情報管理におけるセキュリティの向上に繋がる。

ポイント：システムの導入だけではなく、内規となる情報セキュリティポリシーは見直しを行う。※パスワードの定期変更などを厳密化



●アウトリーチ推進事業について ※引きこもりの方や外出困難者への訪問事業

Q. 新規事業として取り上げる背景は？

A. 8050問題の世帯や、就職氷河期世代への支援策であるが、これまでの弘前市では人員確保の面から十分な支援をできている状況ではなかった。

ポイント：新規事業(※国の100%補助事業)として人員確保をするために予算処置をした。

意見：国の100%補助の事業であるが、国の補助がなくなったら終わることのないように市独自の対応も考えなければいけない。

●弘南鉄道財政支援について

Q. 財政支援をする上で、経営への踏込についてどのように考えているか？

A. 株式の保有割合(2,860株、0.08%)に応じてや、補助金支出部分への関与はできるが経営の直接関与は地方公共団体としては難しいと考える。

意見：議会として市民に説明責任を果たすためには、感情論だけではない数字の裏付けや合理性を持つことが市民の共感に繋がるはず。議会での議論を踏まえた今後の協議を期待する。

ポイント：経営上の関与は難しいが、議会での議論や市民意見は会社へしっかりと伝えることが市の責任と認識している。また、感情論だけではない、未来への希望やそれを踏まえた数字の根拠をしっかりと研究していく。

●「教育委員会」に対して、未来を創る子ども育成事業についての関連

意見：子ども議会が今年で10回目となるが、事業化や予算処置がなされていない状況であることが残念に思う。子どもたちの主体性を育み、議論の中から生まれた成果物に対し、行政として予算処置をすることが成功体験にも繋がると考える。

お詫び

2月28日(金)18時～
弘前市民会館にて開催
予定としていた『弘南
鉄道存続に関する市民
との意見交換会』を延
期しました。

※中止ではありません。



3月25日(水)18時～学習センター
にて開催予定としていた『行政視察
報告会』を延期しました。

※中止ではありません。

新型コロナウイルスの感染が拡大している
状況に際し、中止、延期又は規模縮小等の対
応が要請されたことを受けての決定でした。

会派及び無所属成田だいすけ議員と一緒に 山形県へ行政視察に行ってきました。



酒田市産業振興まちづくりセンターにて

1月28～29日、山形県遊佐町において【少年
町長・少年議会】の取組を、酒田市においては
【データマーケティングを活用した地域活性化】
の取組を視察してきました。

※尚視察内容については、それぞれ教育長並び
に商工会議所へ提言してきました。



遊佐町 時田町長と

詳細については今泉、竹内のブログをご覧ください。
検索ワード「今泉昌一 会派視察」「竹内博之 山形県 視察報告」



議会報告会のお知らせ

みなさまの声をお聞かせください。

新型コロナ感染対策で現段階では開催日を定めませんが、必ず実施いたします。
決まり次第改めて周知いたします。

今泉 昌一

連絡先：090-6687-5200

竹内 博之

連絡先：090-5835-6364

会派さくら未来レポートのバックナンバーについては、お問い合わせください。

2020年 11月分



会 計 帳 簿

支出項目	広報費
------	-----

NO	月日	内 容		支 出 額	証 明 書 類	
		品目	支出先		領収書 番 号	支払 証明書 番 号
1	11月5日	会派広報誌製作費 デザイン料・印刷代	やまと印刷(株)	121,000	5	
2	11月5日	ポスティング代金	ワイエス(株)ミッド事業部	26,939	6	
3	11月5日	振込手数料	青森銀行	550	7	
4	11月5日	振込手数料	青森銀行	330	8	
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						
16						
17						
18						
19						
20						
11月 小 計				148,819		

領 収 書 貼 付 用 紙

支 出 項 目	広報費	領収書番号	←
---------	-----	-------	---

領 収 証	No 83720
会派 さくら 様 _____	発行日 2020 年 11 月 5 日
領収金額 ¥ 121000	
品代 消費税 現金 小切手 (/) 手形 (/) 相殺	但さくらレポートVol.6印刷代として 上記金額正に領収いたしました。
 やまと印刷株式会社 036-8061 弘前市神田4丁目4-5 (0172)34-4111(代)	担当 

支出目的・内容	会派広報誌製作費
---------	----------

備 考

--

請求書

2020年10月13日 1/1

弘前市議会会派さくら未来 様
600806-00

やまと印刷株式会社

代表取締役 秋元清仁

〒036-8061 青森県弘前市神田4-4-5

TEL 0172-34-4111

FAX 0172-36-3299

下記の通りご請求申し上げます

伝票番号 107662 担当 [REDACTED]

商 品 名	数 量	単 価	金 額
活動報告 (さくら未来レポートVol.6)	5,000部	22.00	110,000
<以下余白>			
摘要	課税対象額	110,000	小 計 110,000
	消費税等	11,000	合 計 121,000

取引銀行: [REDACTED]

領 収 書 貼 付 用 紙

支 出 項 目	広 報 費	領 収 書 番 号	6

領 収 証

No. 2203

会 派 さくら未来 様

入 金 日				
2	0	1	1	5

百万	千	円
¥	26939	

差 引 売 掛 金 残 高				
				10

法 人 c.				

請 求 先 c.				
2	5	1	2	3

上記の金額正に領収致しました

- 現金 小切手 振込 相殺

摘 要

- 10/16 チラシ配布料として
 / DM配布料として
 クリッパー 月分として

収 入 印 紙				



ワイエス株式会社 ミッド事業部

- 青森(営) 〒038-0042 青森市新城字福田57番地 TEL (017) 788-4471
 弘前(営) 〒036-0233 弘前市沼富田19-7 TEL (0172) 57-5588
 五所川原(営) 〒038-3107 つがる市柏稲盛岡本94 TEL (0173) 26-7177



本領収証は社印及び取扱者印のないもの及び金額訂正のものは無効です

支出目的・内容	ポスティング代金
備 考	

請 求 書

〒 036-8207
弘前市上白銀町 1 - 1

25123-S0025 請求No. 0000077031
頁 1

弘前市議会会派 さくら未来の会 様

ワイエス株式会社ミッド事業部

〒 038-0042
青森市大字新城字福田 5 7
TEL. 017-788-4471 FAX. 017-788-4409
担当者 弘前営業所
[Redacted]

請求締切日 2020 年 10 月 16 日

御支払方法 *****

下記の通り御請求申し上げます。

前回御請求額	御入金額	差引繰越額	訂正額	今回御買上額	今回御請求額
0	0	0	0	¥26,939	¥26,939

日付	品 名	数量/単位	単 価	金 額	消費税
10/16	事業所を除く全戸 チラシA 3 配布	4,898 枚	5.00	24,490	2,449
			計	24,490	2,449

取引銀行 [Redacted]
口座名義 [Redacted]

誠に勝手ながら振込手数料はお客様のご負担でお願い致します。

別記様式第1号 (第6条関係)

領 収 書 貼 付 用 紙

支出項目	広報費	領収書番号	7
------	-----	-------	---

電信
専用

お振込日

令和 年 月 日
02 / 1 / 05

振込金受取書 (兼 手数料受取書)

預金払戻請求書・預金口座振替による振込受付書 (兼 手数料受取書)

※該当するものに○を表示します

お振込先

漢字でご記入ください。
[Redacted]

○をおつけください。
郵便番号
[Redacted]

漢字でご記入ください。
[Redacted]

支店

金額 121,000 円

振込手数料 550 円

お受取人

預金種目 当座貯蓄 口座番号 [Redacted]

お電話 0172-351121

フリガナ ヤマトインサツ(カ)

フリガナ ヒロサキシキカイ カイ

(おなまえ) やまと印刷 (株) 様へ
(おところ) 弘前市神田 4-4-5

(おなまえ) 弘前市議会会派 さくら未来 様から
(おところ) 弘前市上白銀町 1-1

※このお取引はホームページ掲載の振込規定が適用されます。

当行をご利用くださいますとありがとうございます。

●お振替によりお振込の場合、お支払金額はお振込金額と手数料金額の合算となります。

お支払指定口座 (ご自分名義)	店番	科目	口座番号

日付 株式会社 青森銀行



支出目的・内容	振込手数料
備 考	

別記様式第1号 (第6条関係)

領 収 書 貼 付 用 紙

支出項目	広報費	領収書番号	8
------	-----	-------	---

電信
専用

お振込日
令和 年 月 日
02 / 11 / 05

振込金受取書 (兼 手数料受取書)

預金払戻請求書・預金口座振替による振込受付書 (兼 手数料受取書)

※該当するものに○を表示します

お振込先	▼漢字でご記入ください。		▼○をおつけください。		▼漢字でご記入ください。		支店
	[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]		
お 受 取 人	金額	十萬	百	千	円	振込手数料	
					¥ 26,939	顧客番号 [Redacted] 330 円	
	預金種目	普通	貯蓄	その他	口座番号 [Redacted]	(振込入金) 手数料区分 (為替)	
	フリガナ	ワイエス くカ ミット シ			お電話 (市外局番) - 市内局番 - 番 号		
	"キ" ヨウフ			0172 [Redacted] 351121			1- 振込現金 [Redacted] 空一部
	ワイエス (株) ミト事業部 様へ			フリガナ			2- 都府県振替 [Redacted] 1- 後
	青森市 新城 福田 57			ハサクラミライ			3- 後納 [Redacted] 2- 減
				(おなまえ)			9- 免除
				弘前市議会 会派 さくら 様から			
				(おところ)			
				弘前市 上白銀町 1-1			

※このお取引はホームページ掲載の振込規定が適用されます。

当行をご利用くださりましてありがとうございます。

●お振替によりお振込の場合、お支払金額はお振込金額と手数料金額の合算となります。

お支払指定口座 (ご自分名義)	店番	科目	口座番号
			11 当座 12 普通 12 貯蓄

日付

株式会社 青森銀行

収入印紙

17号



※振込手数料で金額 [振込金+手数料] が 5万円以上の場合は 免付する。

支出目的・内容

振込手数料

備 考

弘前市議会

さくら未来レポート Vol.6

発行日 令和2年10月15日

さくら未来



9/30 弘前消防署西分署にて 防災訓練の様子

— 会派ビジョン —

- ❁ 議会全体での報告会開催
- ❁ 議会基本条例の評価検証と改善
- ❁ 議員条例提案の実現
- ❁ 事業仕訳による議員提案

❁ 合同報告会を開催します ❁

旧弘前偕行社 弘前市御幸町8-10

10月28日(水) 18:00~

(お車は、太宰治まなびの家側の駐車場をご利用ください。尚、報告会終了後、館内見学会を予定しております。)

※当日は新型コロナウイルスの発生に伴う感染予防策として、マスク着用でのご参加をご協力ください。
※新型コロナウイルスの発生状況に応じて、変更となる場合もありますのでご了承ください。

【問合・連絡先】

竹内 博之 : hirosaki.genki.takeuchi@gmail.com
090-5835-6364

弘前市議会令和二年第三回定例会

今泉昌一の一般質問

1. 弘前市の文化行政について

Q. 策定を計画している「文化・芸術振興計画」の狙いは何か？

A. 文化芸術活動の振興は、市民にゆとりと潤いをもたらす、心豊かな暮らしやまちを築いて行く上で必要不可欠だ。人々の創造力を育み、その表現力を高めるとともに、心のつながりや相互に理解し尊重しあう土壌を提供し、多様性を受け入れることが出来る社会が形成できるよう、文化芸術の振興に努める。

市の文化観光分野が抱える課題を明らかにし、課題解決を図るための施策や事業を体系化し、総合的かつ体系的に進めることを目的とする「市民の主体的な文化芸術活動を支え、地域共生社会の実現に向けたまちづくりを推進する。

Point 現在、文化振興は、観光部に属していて、今回の計画策定も、観光部所管で行われる。確かに、文化財や・美術館等は、観光振興といった側面もある。が、“文化”はそれだけではない。教育・生涯学習・市民参画等の側面も有している。計画策定にあたっては、教育委員会や市民生活部とも含めた、組織横断的な取り組みが必要である。

その他 ☆弘前れんが倉庫美術館を市民に開かれた場所にしなければならない。

弘前市に置ける美術活動の、情報発信拠点となってもらいたい。

☆市民会館、文化センター等の使用料金について。8月1日以降、コロナ対応で値下げをしたのはいいが、同様に入場数制限をしていた7月31日以前にも適用しなければ公平性を欠くのではないか。

☆来春からの弘前文化センター改修工事の工期短縮を求める。また、同所で活動している文化団体に対し、代替施設の斡旋をしっかりとやって欲しい。

まとめ 弘前が、青森県内の他市町村と比べ、圧倒的な独自性と優位性を持っているのは「文化都市」という点だ。歴史・伝統工芸・文化財等に加え、多様な創作・表現活動に取り組んでいるたくさんの人や団体がある。そういった人々の文化活動の支援を行ってほしい。

竹内ひろゆきの一般質問

1 テレワーク等の職員の働き方について

※テレワークとは：情報通信技術(ICT)を活用した、場所や時間にとらわれない柔軟な働き方のこと。

Q. 職員の多様な働き方や感染症対策を見据えたテレワーク導入に関する市の見解は？

A. 感染症対策や多様な働き方の推進、ワークライフバランス実現のためにテレワーク導入は必要なことだと認識している。他自治体の事例も参考にしながらどのように実行していくのか前向きに検討したい。

ポイント①：冬期間の通勤時に、大雪などの影響を受けずに仕事ができることもテレワーク導入のメリット。子育てや介護をしながらの職員も自宅で仕事ができるテレワークは多様な働き方の実現に繋がる。

ポイント②：弘前市は過去に導入に関する実証実験を行い、他市町村より優位性がある。5台の専用端末を保有(セキュリティ対策実施)

意見：弘前市には民間サテライトオフィスとしての機能も複数あり、多様な働き方が実現できる。大きな流れとしてある、デジタル化にも対応するため重要なことであり推進していく必要がある。

2 新型コロナウイルス対策について ～生活インフラに関連する業務について～

Q. 感染症発生状況に応じて、除排雪事業や水道事業など市民生活に直結する業務に支障はでないのか？

A. 新型コロナウイルスだけではなく、インフルエンザとの同時流行にも備えた準備が必要。道路維持課の機能を3か所に分散させるリモートオフィス体制の構築を行う。

A. 感染状況の段階に応じて、作業の優先順位や道路の重要度に合わせた作業マニュアルを作成し、必要最低限の人やモノの移動ができるよう万全を期す。

A. 道路水道部は既に庁舎が3か所に分散されている。感染症対策として、マニュアルに基づき感染症対策を実施し、職員の配置換えや優先順位を明らかにし今後起こり得るリスクを想定し、市民生活に影響が出ることがないように対策を講じていく。

意見：生活インフラがストップすることが大きなリスク。民間企業にも生活インフラ事業を担ってもらっている部分があるため、リスクを想定した対応策について民間とも連携が必要。

3 秋の大祭典について

Q. 事業開催の決定プロセスや目的、予算の振り分けについて

A. 新型コロナウイルスの影響で地域経済は深刻な打撃を受けており、地元経済界から経済活性化に関する要望があり、それに基づいて実行委員会を組織。地域の祭りとして地域経済の回復を目的としている。予算の振り分けは4つのブースに約1,700万円、ライトアップやプロジェクションマッピングに約4,800万円(ライトアップなどの機材2,000万円、プロジェクションマッピング2,800万円)警備員配置や清掃業務、会場管理運営費として約1,900万円



↑ 一般質問の様子はこちらから動画を見ることができます。

今泉昌一の決算委員会での質疑

●労働費について

Q. 5款労働費の対予算執行率がわずか64.6%の要因は？

資格取得チャレンジ支援事業費補助金 予算6,000千円⇒決算352千円

東京圏UIJターン就職支援事業費補助金 予算20,000千円⇒決算600千円

県外人材採用活動支援事業費補助金 予算1,500千円⇒決算0円

A. 資格取得チャレンジ支援事業費補助金や、東京圏UIJターン就職支援事業費補助金は、助成を受ける条件等で、制度内容そのものに課題があって、申請者が少なかった。県外人材採用活動支援事業費補助金は、地元企業が、東京で行われる大規模就職説明会に出展するための制度だが、今年1月以降のそういったイベントが、コロナの影響で開催されなかったため、支出が0円となった。

●中心市街地活性化対策について

Q. 第2期中心市街地活性化基本計画の評価は？

A. 今年度末までの計画数値では、通行者数目標23,000人に対し17,428人、空き店舗率6.5%に対し11.0%と、いずれも達成できていない。見直しが必要。第3期計画については、関係団体と協議をして検討を進める。

●学校図書館について

Q. 学校図書館の整備状況は？

A. 文科省が定める標準冊数に対し、小学校全体では94%だが、35校中、22校が未達である。

Q. 昨年度からの新総合計画には、蔵書の整理、学校司書の配置、蔵書のデータベース化が掲載されていたが、その進捗状況は？

A. 蔵書の整理は全校で完了した。学校司書の配置はまだ検討中。それを実現した上で、蔵書のデータベース化に着手したい。

●市の財政全体について

Q. 市の財政状態について、経常収支比率の悪化をどう考えるのか？ また基金を有価証券として運用する考えは？

A. 急激な改善は難しいが、まずは、職員一人一人が、経常収支比率を意識した仕事をするように働きかける。有価証券での運用は、現在はまちづくり振興基金でのみおこなっているが、他の特定目的基金でも導入を検討する。

竹内ひろゆきの決算委員会での質疑

●エリア担当制度について

Q. 各地区の職員出席割合、案件のばらつき要因の背景は？

A. エリア担当職員を通さずに、直接行政に働きかけをしていることも要因としてある。

意見：市民が制度そのものを認識していない現状がある。市民の声を直接聞く貴重な機会として活用してもらうため、これまで以上に周知に力を入れてほしい。

●除排雪関係経費について

Q. 一般質問でも取り上げた昨今の雪対策事業の目玉になっている、除雪困難者支援についての自己評価と1件あたりの費用は？

A. 事業評価アンケートより、87%の方が満足、妥当であるとの評価があった。55%の方が費用を行政が負担すべきだとの回答も。2つの地区で43件の実施実績があり1件当たり34,000円の費用。

意見：満足度の高い事業であり、今後高齢化等に伴いニーズの高い事業と認識している。現段階では個別事業として予算は付いていないが、今後単独事業化に向けた取組を期待している。

●スマートシティ構想、地域エネルギービジョンについて

Q. 今年度で計画期間が終了するが、これまでの評価と今後について

A. 避難施設への太陽光発電設備の導入により、災害時の必要最小限の電源を確保することができた。通学路などへの融雪設備の導入、本庁舎へのエネルギーマネジメントシステムの導入など構想に記載のプログラムは概ね実施検討したことで一定の実績があったと考えている。今後は民間企業がエネルギー効率化に関する事業の後押しをしていきたい。

意見：電力の自由化などにより民間の動きが今後出てくることが予想される。これまでの積み上げを活かしてほしい。スマートシティ構想の中にはICT推進の計画もあり、今後のデジタル化に向けても進めてほしい。

●小中学校冷房設備設置事業について

Q. 職員室や特別教室などの設置状況と今後の整備計画

A. 特別教室は音楽室のみ設置しており、職員室にも設置していない。他市も職員室には設置していない。市としても職員室への設置の重要性は認識しているが、費用面でなかなか進められていなかった。しかし、コロナ禍の中、職場環境の改善も重要である。それらを踏まえて補正予算を組んで対応していきたい。

意見：温暖化などの影響もあり、職場環境の向上は必要であり先生方の働く環境の向上に向けて取り組みをしてほしい。

ポイント：令和2年度補正予算(第10号)において、小中学校の職員室などにエアコン設置するための予算が計上された。

議員有志による勉強会を行いました。

地域スポーツに関する勉強会を総合型スポーツクラス「スポネット
ト弘前」代表の鹿内葵さんを講師に行いました。

8/26



合同報告会を開催しました。

7月31日弘前市民会館にて新型コロナウイルス感染症対策を講
じた上で、会派+無所属成田議員合同報告会を開催しました。

7/31



告知事項(個人の議会報告会)

今泉 晶一	11月20日(金) 18:30 ~ 百石町展示館
竹内 博之	10月22日(木) 18:00 ~ 学習センター

みなさまの声をお聞かせください。

今泉 昌一

連絡先：090-6687-5200



竹内 博之

連絡先：090-5835-6364



会派さくら未来レポートのバックナンバーについては、お問い合わせください。

支出項目	広報費
------	-----

NO	月日	内 容		支 出 額	証 明 書 類	
		品目	支出先		領収書 番 号	支 払 証 明 書 番 号
1	2月3日	会派広報誌製作費 デザイン料・印刷代	やまと印刷(株)	143,220	9	
2	2月3日	ポスティング代金	ワイエス(株)ミッド事業部	32,989	10	
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						
16						
17						
18						
19						
20						
2月 小 計				176,209		

領 収 書 貼 付 用 紙

支 出 項 目	広 報 費	領 収 書 番 号	9
---------	-------	-----------	---

領 収 証

No 83272

発行日 2021 年 2 月 3 日

弘前市議会会派さくら未来 様

領 収 金 額	¥ 1 4 3 2 2 0
---------	---------------

品 代	
消費税	
入 金 内 訳	
現金	
小切手	(/)
手 形	(/)
相 殺	

但 さくら未来レポート Vol.7印刷代として
上記金額正に領収いたしました。

やまと印刷株式会社

036-8061 弘前市神田4丁目4-5 (0172)34-4111代

担 当

支出目的・内容	会派広報誌製作費
---------	----------

備 考

--

請求書

2021年01月27日 1/1

弘前市議会会派さくら未来 様
600806-00

やまと印刷株式会社

代表取締役 秋元清仁

〒036-8061 青森県弘前市神田4-4-5

TEL 0172-34-4111

FAX 0172-36-3299

下記の通りご請求申し上げます

伝票番号 109532 担当 [REDACTED]

商品名	数量	単価	金額
活動報告 (さくら未来レポートVol.7)	6,200部	21.00	130,200
<以下余白>			
摘要	課税対象額	130,200	小計 130,200
	消費税等	13,020	合計 143,220

取引銀行: [REDACTED]

領 収 書 貼 付 用 紙

支 出 項 目	広 報 費	領 収 書 番 号	10

領 収 証

No. 2227

会 派 さくら未来 様

入 金 日			
2	1	2	3

百万		千		円
	7	3	2	9
			8	9

差引売掛金残高				
				70

法 人 c.			

請 求 先 c.			
2	5	1	23

収 入 印 紙			

上記の金額正に領収致しました

- 現金
 小切手
 振込
 相殺

摘要

- 1/29 チラシ配布料として
 / DM配布料として
 クリッパー 月分として



ワイエス株式会社 ミッド事業部

- 青森(営) 〒038-0042 青森市新城字福田57番地
 TEL (017) 788-4471
 弘前(営) 〒036-0233 平川市日野富田19-7
 TEL (0172) 57-5588
 五所川原(営) 〒038-3107 つがる市柏稲盛岡本94
 TEL (0173) 26-7177



本領収証は社印及び取扱者印のないもの及び金額訂正のものは無効です

支出目的・内容	ポスティング代金
備 考	

請 求 書

〒 036-8207
弘前市上白銀町 1 - 1

25123-S0025 請求No. 0000081655 S

会派 さくら未来

様

ワイエス株式会社ミッド事業部



〒 038-0042
青森市大字新城字福田 5 7
TEL. 017-788-4471 FAX. 017-788-4409
担当者 弘前営業所

請求締切日 2021 年 01 月 29 日

御支払方法 *****

下記の通り御請求申し上げます。

前回御請求額	御入金額	差引繰越額	訂正額	今回御買上額	今回御請求額
0	0	0	0	¥32,989	¥32,989

日付	品 名	数量/単位	単 価	金 額	消費税
1/29	事業所を除く全戸 チラシA3 配布	5,998 枚	5.00	29,990	2,999
			計	29,990	2,999

取引銀行
口座名義

誠に勝手ながら振込手数料はおお客様のご負担でお願い致します。

弘前市議会

さくら未来レポート Vol.7

発行日 令和3年1月29日

さくら未来



●2020年12月2日(水) 「旧弘前借行社」にて合同報告会を行う前の一枚

— 会派ビジョン —

- ❁ 議会全体での報告会開催
- ❁ 議会基本条例の評価検証と改善
- ❁ 議員条例提案の実現
- ❁ 事業仕訳による議員提案

❁ 合同報告会を開催します ❁

日時：2月14日(日) 13:00～

場所：弘前学習センター 4階 研修室

※オンラインでの参加もできます。お問い合わせください。

【問合・連絡先】

竹内 博之：hirosaki.genki.takeuchi@gmail.com
090-5835-6364

弘前市議会令和二年第4回定例会

今泉昌一の一般質問

1. 弘前市の商業政策について

Q. 中心商店街振興のビジョンは？

A. 商品を販売するだけでなく、医療・福祉・子育て・観光等の要素も備えた生活の場とすることが必要。中心商店街を、人口減少・少子高齢化といった、市の直面する課題解決の街と位置づけて振興を図っていきたい。

Q. 第2期中心市街地活性化基本計画は、目標数値を達成できていないのに、一年延長したのは何故か？

A. 計画が終了すれば、国の各種支援が受けられなくなる。一年間かけてこれまでの成果を検証し、第3期計画を策定する。

Q. 中心市街地活性化基本計画に掲げられている「駅前広場」の整備を突如見合わせた。このことに関して周辺住民・事業者の理解が得られているのか？影響をどのように捉えているのか？

A. 交通結節点としての駅前広場の整備より、弘南鉄道大鰐線の経営再建が優先と考えた。先ずは大鰐線の利用促進を図りたい。

Point

中心市街地活性化基本計画第2期は、2021年3月で、その期間を終える。しかし、その中で指標としてあげられていた、通行数、空き店舗率、観光施設の利用客数とも、目標値を大幅に下回っている。また、重点事業と位置づけられていた、弘南鉄道大鰐線中央弘前駅駅前広場の整備は、着手もしないまま、見合わせられることになった。こういった状況を考えれば、本来であれば、今年度当初からでも、第3期計画策定を進めるべきだったのに、市はそれを怠っていた。中心商店街振興については後ろ向きだったと言われても仕方がない。
答弁にあったとおり、様々な要素を兼ね備えた市民生活の拠点として、積極的な振興策を期待したい。

2. 弘前市のコロナ対策について(主に経済政策)

Q. 10月19日に発表した、市内飲食店への休業依頼が、10月22日に「営業時間短縮でも可」と変更になった経緯は？また、休業協力金の申請件数は？

A. 発表後、国や県との協議の結果、市民生活に重大な影響を及ぼす一斉休業は望ましくないとの結論に達した。協力金の申請件数は1,200件強である。

Point

5月の家賃補助や今回の休業協力金等の申請で集まったデータを、集計・分析して、今後の、経済支援策に活かすべきである。また、事業者に対しては、補助金のばらまきでなく、融資制度を拡充・強化すべきと考える。

竹内ひろゆきの一般質問

弘前市の新型コロナウイルス対策について

(1)これまでの対策に関する評価・検証について

Q. 各種コロナ対策については新型インフルエンザ等行動計画に基づき、各種対応をしてきたはずであるが、それらの計画実施を行う上でどのような課題認識をもっているのか。うまくいった点、うまくいかなかった点など具体的に。

A. 「迅速な周知」や国、県との緊密な連携が課題と捉えていた。今年度当初と比べ改善されたと思っている。

答弁ポイント

新型インフルエンザ等行動計画はH28年度策定されたもので、新型コロナウイルス感染症の対応を踏まえ、必要な部分は実態に合わせた改正を行うことと、将来を見据え組織体制の抜本的な見直しも検討する。

意見

組織体制の見直しが必要。コロナを災害として捉え、情報の一元管理や全体調整のグリップとなる危機管理として取組む必要がある。また、クラスター発生を踏まえ、どこの部署にどれだけのマンパワーが必要かわかったはず。教訓として活かしていかなければいけない。今後は機動性も上げていく必要がある。

Q. 福祉政策に関すること クラスター発生前後の福祉指標の変化やこれまでの対応について ※新聞記事参照

ポイント

必要な支援が行き届くよう相談体制の確保が重要と考え、1月1日を除く年末年始においてもヒロロの生活仕事応援センターで相談受付体制を整備する。

(2)今後の対応について

Q. 現状認識においてもコロナ対策は長期戦であるという認識の下、今後の財政見直しに関することについて

弘前市議会 一般質問

弘前市議会は8日、一般質問を行った。市側は、市の「ひろさき生活・仕事応援センター」に寄せられた生活困窮に関する本年度の相談件数が11月末時点で305件となり、前年度同期の約2.5倍に増えたことを明らかにした。新型コロナウイルス感染症拡大を受けた休業や失業が影響した。家賃の支払いが困難な人への住居確保給付金の支給件数も、前年度同期の約15倍に急増している。

竹内博之議員(いわくら末)の質問に答えた。市はヒロロ3階の「ヒロロスクエア」で生活困窮に関する相談を受け付けている。相談は政府が緊急事態宣言を出した4月が39件、5月が76件あり、その後は20件台に落ち着いたが、市内の飲食店で大規模クラスター(感染者集団)発生が判明した10月は38件、11月は49件と再び増加した。

一方で、相談を受けて就労が決まった件数は49件で、前年度同期の64件を下回っている。市福祉部の番場邦太郎部長は答弁で、「年末の質問に答えた。市はヒロロ3階の「ヒロロスクエア」で生活困窮に関する相談を受け付けている。相談は政府が緊急事態宣言を出した4月が39件、5月が76件あり、その後は20件台に落ち着いたが、市内の飲食店で大規模クラスター(感染者集団)発生が判明した10月は38件、11月は49件と再び増加した。

一方で、相談を受けて就労が決まった件数は49件で、前年度同期の64件を下回っている。市福祉部の番場邦太郎部長は答弁で、「年末の質問に答えた。市はヒロロ3階の「ヒロロスクエア」で生活困窮に関する相談を受け付けている。相談は政府が緊急事態宣言を出した4月が39件、5月が76件あり、その後は20件台に落ち着いたが、市内の飲食店で大規模クラスター(感染者集団)発生が判明した10月は38件、11月は49件と再び増加した。

また、市側は新型コロナウイルスの影響で、2021年度の市税収入が本年度(見込み額)に比べ約11億円減ると見込んでいることも明らかにした。減収分は国からの地方交付税などで一定程度補われる見通しだが、市財務部の須郷雅彦部長は「財政的には非常に厳しい。創意工夫しながら限られた財源を有効活用したい」と答弁した。

A. 新型コロナウイルスの影響により市税収入も大きな影響を受ける。令和3年度見通しについて現時点で個人市民税約4億円、法人市民税は約1億円の減少を見込んでいる。市税全体では11億円の減少を見込んでいるが、これらについては地方交付税により全額あるいは一定程度補填される見込み。

ポイント：地域内での消費を活発にすることで、税収の回復に繋げ、それを市民に還元していくことが最重要課題であると考えている。

意見：乗数効果や産業連関表を基に政策決定をしていくことで、市内経済循環の観点から有効という考え方がある。

Q. デジタルシフトを見据えた職員の働き方改革、コロナ禍における行政サービスの維持向上もコロナ禍において重要な位置づけだ。これまで通りの価値観に囚われず、前向きな取り組みとしてデジタルシフトに繋げていかなければいけない。市では行政のデジタル化、それに伴う職員の働き方改革、コロナ化における行政サービスの維持向上などに向けてどのように考えているか。

A. 新しい生活様式を踏まえ、テレワーク活用も踏まえ職員の働き方改革を推進していくため、他自治体の事例を参考に具体的な運用について検討を進める。

意見：ハード機器を導入したことは第1段階。次は職員が活用するためのルールなどソフト整備が重要。国の動向でもデジタル庁が創設されるため、この分野には大きな期待があり、弘前市が率先して進めていきたい。



↑ 一般質問の様子はこちらから動画を見ることができます。

今泉昌一の予算審査での質疑

今議会の補正予算で、最も議論が集中したのが、利用料金制(*注)指定管理事業者に対する、赤字補填の件であった。特に、「国民宿舎いわき荘」と「星と森のロマンピア」は、民間企業とも競合する宿泊事業であり、その見込まれる赤字全額を市が補填することに、多くの議員が疑問を投げかけた。

*注 利用料金制とは

施設利用料や宿泊料等、利用者から徴収した金額を、指定管理事業者が収入として計上する制度。利用収入が見込みより多ければ、事業者の収益となる。

Q. 11月以降の収入及び支出の見込額は、事業者から出されたものか？ 市が計算したものか？

A. 事業者の話聞いて、市が算定した。

Q. コロナの影響と言って、収入は大きく落ち込む見込みなのに対して、支出はさほど少なくなっていない。ほとんどが固定費ということか？

また、支出額が昨年同月を上回る月があるのは理解できないが？

A. コロナ感染予防対策費が含まれている。また、出来るだけ雇用を維持するために、人件費の削減を抑えている。

Point

数字の根拠が曖昧だ。また、民間の宿泊業者は、人件費を抑制したり、内部留保を取り崩したり、融資を受けたりなど、精一杯経営努力をしてこの難局に立ち向かっているのに、市の指定管理事業だからと言って、赤字見込額を全額補填するのは、著しくバランスを欠く。本来であれば、修正案を出したいところだが、資料の提出が昨日だったこともあり、正確な数字を提案することができない。今回は、一応は了承するが、予算を執行するときには、緻密に精査をして欲しい。そして、その資料を議会にも公表することを、強く求める。



↑ 予算委員会の様子はこちらから動画を見ることができます。

新型コロナウイルスの影響による赤字を補うため、弘前市が「星と森のロマンピア」と「国民宿舎いわき荘」の指定管理者にそれぞれ5300万円を支出することを巡り、15日の市議会予算決算責任委員会で、民間の宿泊事業者との公平性を保てるか疑問の声が相

次いだ。苦勞している民間事業者への配慮に欠ける」との委員からの指摘に対し市側は「同施設は宿泊だけでなく市民サービスも担っている」と理解を求めた。市は▽減収は指定管理事業者の責任と見ている▽影響が縮くと公共サービスの停止も想定される」といった

観点で支出を決めた」と説明。利用料などの収入と支出の差額を計算した結果、両施設とも5300万円の赤字になった。金融機関からの借入れは選抜版にあったが、専任の竹内博之委員(くら未来)に、市朝光課の早坂謙太郎長は「公益の施設は市の支

出で管理するべきだ」と思っている」と答えた。「本来ならば賛成しかねる」と今泉昌一委員(くら未来)との声も出たが、指定管理事業者への支出を全市2020年度一般会計補正予算案は全額一致で可決された。

東奥日報 2020年12月16日より引用

竹内ひろゆきの予算委員会における質疑

■ 3施設(れんが倉庫美術館、ロマンピア相馬、いわき荘)に関する指定管理料、追加計167,000千円について

Q. 今回の指定管理料の支払い、追加となる議案作成の段階で同業となる宿泊事業者などへはヒアリングを行ったのか？ また、事業者は金融調達を行っていないが、市としての認識は？

A. 新型コロナウイルス発生状況を踏まえた事業者へのヒアリングは行っている。金融借入れについて、本件施設は「公の施設」であることから市として積極的な話はしていない。

意見1

：金融調達する際は計画黒字になる見込みをつけないと(様々な支出見直しなどによる経営努力)資金調達できない。ヒアリングについては同業他社のそのような経営努力などの状況を見ているのかを確認している。市としてそのような現状を捉えていくことが重要であり、**行政としての姿勢が問われている。**

意見2

：市の施設だからと言って公金投入するということではなく、競争原理が働いている施設に公金投入するということに対して同業他社とのバランスをしっかりと認識してもらいたい。



↑ 予算委員会の様子はこちらから動画を見ることができます。

合同報告会を開催しました。

2020年12月2日(水)旧弘前偕行社にて合同報告会を開催いたしました。 ※感染予防対策実施の上

12/2



会場には20名の方が参加され、質疑応答も活発に行われました。また、オンラインでの参加者も2名いらっしゃいました。

意見交換会を行いました。

弘前市内でクラスター発生前後の影響について現場の生の声、実情を聞くべく意見交換会を行いました。 ※感染予防対策実施の上



- 11月21日(土)母子会関係者の方との子どもたちの生活環境や学習環境、コロナの影響についての意見交換会
- 12月1日(火)弘前市の医療体制、医療現場の状況について市内開業医師との意見交換会

11/21

12/1

※意見交換の内容は一般質問や委員会質疑などで反映しています。

告知事項(個人の議会報告会)

今泉 昌一

2月25日(木) 18:30~19:45
百石町展示館

竹内 博之

2月6日(土) 13:00~
学習センター 視聴覚室

※オンラインでの参加もできます。お問い合わせください。

みなさまの声をお聞かせください。

今泉 昌一

連絡先: 090-6687-5200



竹内 博之

連絡先: 090-5835-6364



会派さくら未来レポートのバックナンバーについては、お問い合わせください。